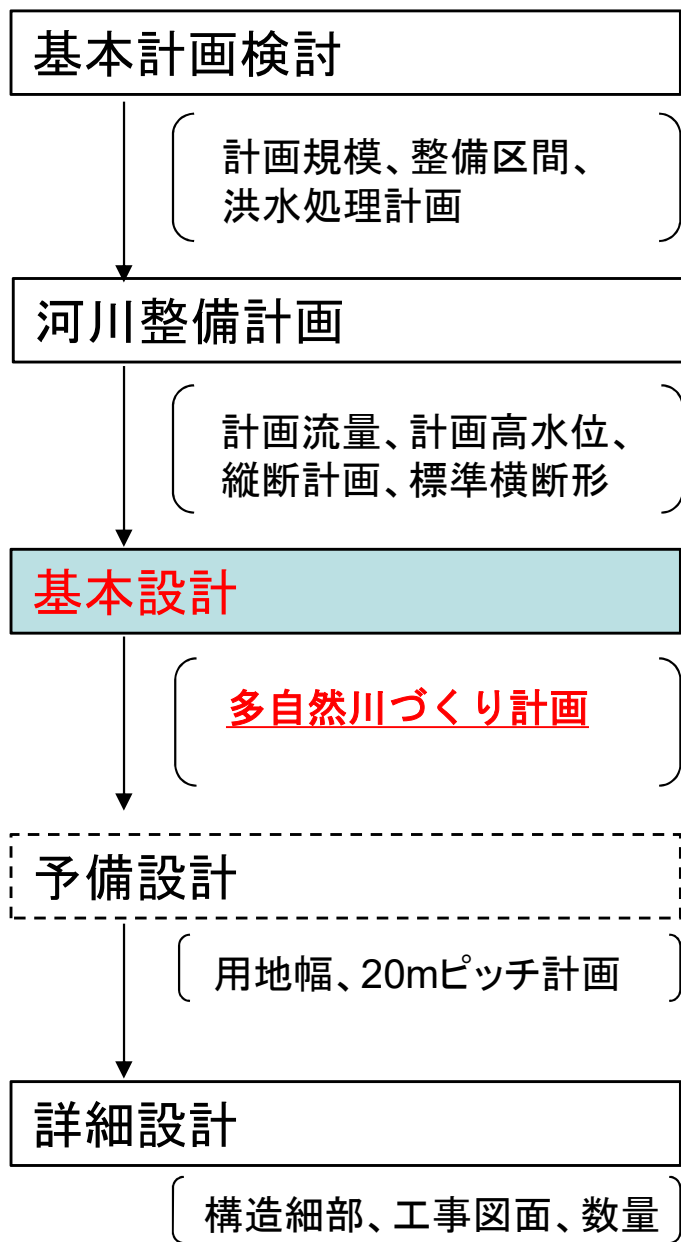


◆ 河川整備計画と実施設計の間をつなぐものとして、治水と利水・環境を融合した河道計画等を検討し、「多自然川づくり計画」としてとりまとめる。



## 【検討内容】

- ① **具体的な目標設定(平常時の機能)**
    - ・現況評価を踏まえ、自然環境、利用、景観等の目標を設定する
  - ② **平面計画**
    - ・現況の川なりを考慮
    - ・周辺施設(道路、公園など)との接続、活用、処理
  - ③ **横断計画、縦断計画**
    - ・計画高水位、計画流量を踏まえ、上記目標を達成するような形状等を検討
  - ④ **施設配置計画**
    - ・護岸、水制、階段、管理用通路などの施設配置を検討
- **意見聴取等(検討会議、ヒアリング)**  
一連の検討プロセスにおいて、地域(市町村、学校、地元団体等)、有識者から意見聴取及び意見交換を行う。

上記の内容を「〇〇川多自然川づくり計画」としてとりまとめる